

CCMC

Chiba Central Medical Center



医療法人社団 誠馨会
千葉中央メディカルセンター

Chiba Central Medical Center

CCMC

Chiba Central Medical Center



医療法人社団 誠馨会
千葉中央メディカルセンター

Chiba Central Medical Center

Chiba Central Medical Center Providing safe and secure medical support to our patients.

Chiba Central Medical Center (CCMC) is a healthcare facility that does not only contribute medical service to the city of Chiba, but to a wider community. From acute emergency treatment to long term rehabilitation, we at CCMC are committed to providing the best possible medical care over a wide range of medical fields with our advanced medical facilities and highly skilled staff.

Based on our philosophy of “Reliability and Contribution”, we continue to hold building a trustworthy relationship with our patients and their families to the highest value, actively contributing to the region by providing many medical services including emergency care.

To further improve our medical care functions, we have established four specialized in-hospital centers in addition to our normal practice, including the Diabetic Center, Spine & Spinal Cord Center, Cardiovascular Center, and Cerebrovascular Center. These centers have developed a reputation for offering satisfactory and high-level medical care by exceeding the expectations of our patients and the wider community.

CCMC puts equal strength in all departments of clinical training. As a clinical training hospital, we focus on instructing and encouraging resident physicians and surgeons, as well as other medical care personnel. Furthermore, we have created an environment that promotes a high degree of satisfaction to all who train and work at this hospital.

To address the growing importance of medical safety, CCMC has established the Medical Safety Management Team to fully ensure the best possible safety management through all aspects of patient care. In order for us to continue offering safe and effective medical treatment to our patients, we encourage our patients and those close to them to actively take part and cooperate in the treatment process.

We at CCMC will continue steady efforts to fulfill our philosophy of “Reliability and Contribution” as a hospital that provides safe and secure medical service in partnership with our patients, staff and the community.

DIRECTOR **Takao Nakamura**
Takao Nakamura

理念

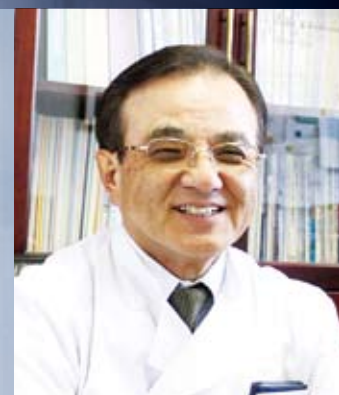
信頼と奉仕

どんなに時代は変わっても、
私たちの医療に対する姿勢は変わりません。
それは、「人」が主役の医療であること。
地域の方々の健康と、安心して暮らせる環境を
医療の現場から支えていくこと。
そういう努力を、これからも。

基本方針

- 1 患者の権利を擁護し、公正な医療を実践します
- 2 教育・研修を推進し、医療の質の向上に努めます
- 3 信頼関係に基づいた安心・安全な医療を提供します
- 4 職員が喜びと誇りを持って働ける職場作りを目指します
- 5 医療連携の充実を図り、地域の保健活動に貢献します

院長あいさつ



院長 **中村 孝雄**

安全・安心な医療の提供を目指して

千葉中央メディカルセンターは、地域医療の一翼を担う医療機関として、高度な医療設備、最高のスタッフを揃え、超急性期から回復期リハビリまで行っている病院です。

病院理念の「信頼と奉仕」に基づき、患者様やご家族との信頼関係を大切にしながら、救急医療をはじめとする地域貢献に積極的に取り組んできました。良質な医療の提供のために一般診療科のほかに、専門性をより重視した院内専門センターを設置して診療にあたっていますが、「糖尿病センター」、「脊椎脊髄センター」、「脳

卒中センター」、「循環器センター（現：心臓血管センター）」などの各センターは十分な実績と高いご評価をいただいております。また臨床研修病院として初期臨床研修医の臨床教育を行っているほか、全ての部門の教育研修にも力を入れています。

ますます重要性の増している医療安全については医療安全管理室を中心に病院全体として取り組んでおり、患者様との関係のあり方についても患者様に医療への積極的な参加と協力を求めて、より「安全・安心な医療」の提供が出来るよう皆で努めています。

千葉中央メディカルセンター

私たちは常に本当の健康について考えます



診断、治療、予防、そして健康な生活を

生活の多様化、高齢化にともなう複雑になっていく疾病。私たち内科医には、迅速な診断、的確な治療、そして患者の皆さまの健康な生活を考える視点が欠かせません。

当院では、循環器、糖尿病、消化器、

呼吸器、腎臓、膠原病、神経領域における専門的治療を提供するとともに、急性期から慢性期、そして予防まで、健康に関するすべての訴えに耳を傾け、患者の皆さまが本当の健康を得られるようにお手伝いします。



人工透析内科 部長
柏木 福和

外科医から転身して透析医療に携わり、丸10年が経過しました。今思うことは、主に以下の二点です。

現在の透析医療の主たる対象が、(超)高齢者や複数の疾患を抱える方々になり、医療の中で透析が特別なものではなくっていること。もう一つは、何のために、どんな医療を受けたいのか、そして最期をどう迎えたいのか(本当の意味での自己決定)ということが見えてこないこと。社会の問題もありますが、このことを決めることは、やはり本人の責任・義務ではないでしょうか。

この二点を常に心に留め、医師として患者のために何ができるかを考えながら日々の診療に取り組んでいます。



消化器内科



消化器内科では、胃癌、肝臓癌、大腸癌、膵癌、胆道癌などの早期診断と早期治療に特に重点を置いて診療しています。また、ウイルス性肝炎、肝硬変、胆石症、慢性膵炎、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病などの治療を行っています。内視鏡分野では、狭帯域光観察ユニットを用いた診断、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的逆行性膵胆管造影、経皮的経胆管ドレナージなどに対応します。

和漢診療科

和漢診療は、心身の全体像を捉え、知恵と経験の積み重ねによって体系づけられた診療システムであり、臓器および疾患別に発展してきた西洋医学の長所を活かしつつ、その短所を補う医療体系です。患者の訴えに耳を傾け、全身の状態を観察することから始まり、治療の主役である漢方薬は、生薬を調合するなど患者の病状に合わせて処方されます。



人工透析内科



近隣に在住する約120名の患者が当院で維持透析を受けています。痒みや骨関節痛などの合併症予防に努め、透析患者の日常生活の質向上を目指しています。また、冠動脈症候群や脳卒中などの透析患者に合併した急性疾患や急性腎不全に対する緊急透析にも24時間体制で対応しています。

呼吸器内科

慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺癌など、呼吸器疾患の有病率は年々上昇しており、今後益々必要性が増していく領域です。当院では、良性、悪性を問わず、上気道、下気道、縦郭に至るまで呼吸器および胸部疾患の診断と治療を行います。

内科

健康に関する問題に耳を傾け、生活の多様化や高齢化に対応しながら、内科疾患の初期診療および慢性期管理を行います。丁寧な診察、適切な検査に基づいた正確な診断、および各疾患専門医と連携した最善の治療を提供し、健康と疾病を広く見据えた総合的な診療を目指しています。



リウマチ科

主に、慢性リウマチなど自己免疫疾患(膠原病)と、花粉症や気管支喘息などアレルギー疾患の診断・治療を行います。慢性炎症性疾患の治療に際しては、ステロイドなどの抗炎症剤の投与がしばしば行われるため、副作用に留意した専門的な管理が重要です。



腎臓内科

慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群などの慢性腎疾患をはじめとした腎疾患全般の診断、治療、および生活指導を行っています。末期腎不全患者の透析導入には、人工透析内科と連携し適応を検討していきます。

神経内科

パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、重症筋無力症、多発性硬化症、筋委縮性側索硬化症などの神経難病と言われる疾患や、アルツハイマー病、末梢神経障害、筋炎・筋委縮症などの診断・治療を行います。

高度で確かな先進 医療を提供します



社会のニーズに応える専門医療チーム

糖尿病、虚血性心疾患、脊椎変性疾患、そして脳卒中。年々増え続けるこれらの疾患は、日本人全体の健康にも大きく関わっており、今日の医療のなかでも最もニーズの高い領域と言えます。当院では、糖尿病センター、心臓血管センター、脊椎脊髄セ

ンター、脳卒中センターを設け、これらのニーズに応えるための機能強化を図ってきました。各領域の専門医を中心とした医療チームが、超急性期治療から予防まで、より高度で確かな先進治療を常に提供できるように努力を続けています。



副院長、脊椎脊髄センター長
玄 奉学

たとえ大規模病院であっても、単に急性期医療を提供するだけでは生き残れない時代です。病院としての明確なコンセプトを持ち、他施設と差別化される特色を打ち出すことが益々重要となりつつあります。地域に根差した急性期医療の中核病院として歩み続けてきた当院は、1999年から糖尿病センター、脊椎脊髄センター、脳卒中センター、心臓血管センターと、特に社会的要請の高い分野をセンター化することで、その機能を強化してきました。スタッフや医療機器を含む診療環境の更なる充実を図り、各センターの特色を活かした高度な専門医療をより安全に提供することで、今後も皆さまの期待に応えていきたいと思っております。

心臓血管センター 循環器内科

虚血性心疾患に対するカテーテル治療を中心に、適切な診断と確かな治療を行います。

狭心症や急性心筋梗塞の治療に備え専門チームが24時間365日待機しており、この地域の救急医療において欠かせない存在となっています。豊富な経



験と確かなカテーテル操作、ロータブレード治療を含む高度な技術を活かし、重篤な冠動脈病変や重度の全身合併症をもつ症例に対しても確かな治療を提供いたします。また、末梢血管障害、心不全、不整脈など様々な循環器疾患の診断と治療にあたります。

心臓血管外科

最高の医療チームが最良の心臓手術および大血管手術を提供します。

心臓手術麻酔の専門医や臨床工学技士を含む医療チームが24時間体制で周術期管理に対応し、冠動脈バイパス手術、弁形成・弁置換手術、大動脈解離・大動脈瘤手術など年間100例を超す心臓・大血管手術を行っています。高度な心臓麻酔技術、適切な臨床工学チームの体外循環技術、そして確かな手術手技が良好な手術成績を支えます。また、3学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設として、心臓外科医の育成にも力を入れています。

糖尿病センター

病態に応じた適切な糖尿病治療と合併症対策を行います。

1999年開設以来、日本糖尿病学会認定専門医が最新の知識と技術に基づく診療を行うとともに、看護師・栄養士が生活習慣改善に向けての充実した看護および指導を行っています。合併症の早期発見に努め、心臓血管センター、脳卒中センター、眼科、人工透析内科と連携した集約的診療を行い、高齢化に対応したゆとりのある診療と指導を心掛けています。また、日本糖尿病学会認定教育施設として、若手医師の専門医取得に向けた教育にも力を入れています。

脊椎脊髄センター



脊椎脊髄の変性疾患や外傷に対し最善の治療を提供します。

脊椎脊髄センターでは、主に頸椎から仙椎にいたる脊椎変性疾患と外傷に対する診断と治療を行います。適切な検査、的確な診断のもと、保存的治療による効果が十分でない場合には外科

脳卒中センター

超急性期治療からリハビリテーションまで、チーム医療で後遺症を最小限に食い止めます。

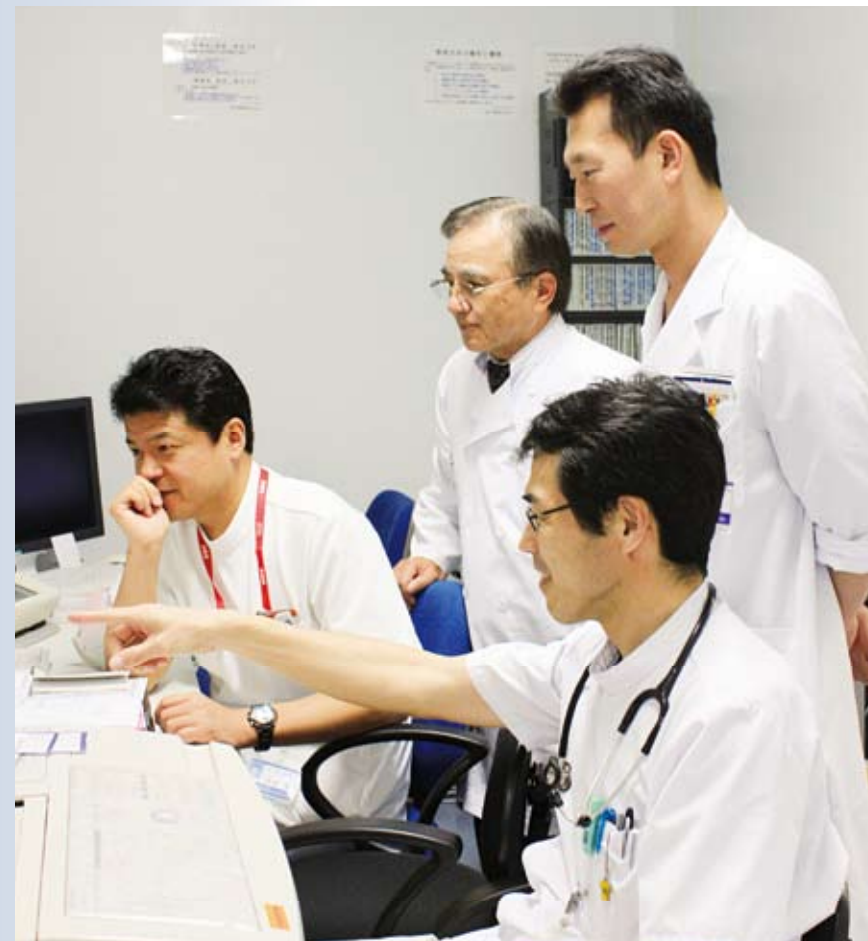
脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に対する超急性期治療から、リハビリテーション、および予防的治療に至るまで、脳卒中診療のあらゆる分野において一人一人の病状に応じた



適切な治療を提供し、脳卒中による後遺症を最小限に食い止めます。脳卒中専門医が24時間体制で待機し、脳梗塞超急性期の血栓溶解療法や脳出血・くも膜下出血に対する緊急手術に対応します。

Advanced Medicine

技術、経験、そして チームワーク、 CCMCだから こそでできる安全で確かな手術



チーム医療が支える患者にとっての最良の治療

最新鋭の診断治療機器、診療科や職種を超えた医療スタッフの連携、多彩で豊富な症例に裏付けされた確かな技術と経験、中規模病院だからこそこのフットワーク、これら全て

がCCMC外科チームの医療レベルを支えています。適切な検査と診断をもとに検討された最善の治療方針を、各領域の専門外科医とその医療チームが確かな手術で実践します。



外科 部長
松葉 芳郎

すべてのスタッフが常に新しい知見や技術の習得に積極的で、それを実際の診療に活かしています。診療科や職種を超えた良好で密な連携とフットワークの良さが、スタッフや最新の医療機器の力を最大限に引き出しているようです。一例一例を大切にすることで積み重ねてきた経験と確かな技術、そしてチームワークが、患者にとっての最良の外科治療を支えていると思います。

研修医をはじめとした若手の医師や医療スタッフも増え、成長し続ける病院の勢いを実感しています。

外科

胃・十二指腸・胆道・肝臓・脾臓・小腸・虫垂・大腸・直腸・肛門などの消化器疾患に対する観血的手術と内視鏡手術



術を行っています。また、肺、甲状腺、乳腺、卵巣に対する外科治療にも対応します。経験豊富な医師の指導のもと若手医師が積極的に治療に参加するなど、若手外科医の育成にも力を入れています。

各診療科や地域の医療機関との連携強化、NST(栄養サポートチーム)の積極的参加などにより更に機能向上した医療チームが、より確かで安全な治療を提供していきます。

整形外科

脊椎疾患、四肢外傷、関節疾患など様々な整形外科疾患の診療を行っています。常に低侵襲治療を心掛け、患者の機能改善と疼痛からの解放のために最善の治療を提供します。日本整形外科学会の教育認定施設として、4名の整形外科専門医、3名の脊椎外科指導医を中心に、最新の知識と技術に基づいた治療を実践するとともに、教育および研究にも力を入れており、より確かな技術の習得と安全の向上に努めています。



脳神経外科

脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、感染症、三叉神経痛、顔面痙攣などの脳外科疾患に対し、救急・集中治療、開頭手術、カテーテル治療など病状に応じた最善の治療を行います。経験豊富な6名の脳神経外科専門医を中心に、高性能の画像診断機器と手術用顕微鏡、神経内視鏡装置などの治療機器を揃え、確かな診断に基づいた安全で有効な治療の実践に努めています。



泌尿器科



対象疾患は、前立腺癌、膀胱癌、腎臓癌、性器悪性腫瘍などの腫瘍性疾患に加え、排尿障害、失禁、過活動性膀胱、下部尿路症状(LUTS)などの神経泌尿器科疾患、後腹膜疾患、結石、尿路感染、勃起不全(ED)など多岐にわたります。観血的手術、内視鏡手術、体外衝撃波結石破碎術など様々な泌尿器科治療に対応し、一人一人の病状に応じた最善の治療を提供します。

Surgery

麻酔科

手術室スタッフのリーダーとして、各診療科と連携しながらCCMCの安全で確かな手術の一翼を担っています。確かな麻酔技術が、心臓大血管手術、重度の合併症が予想される手術、様々な緊急手術など、あらゆる手術を24時間体制でサポートします。



眼科

3名の眼科専門医と看護師および視能訓練士による医療チームが、最新の診断技術と治療法の習得に努め、最善の治療を提供します。病状および治療方針について丁寧で分かりやすい説明を心掛け、患者とともに視機能改善のための治療を進めていきます。

形成外科

体表面を中心とした全身のあらゆる部位の異常や形態変化に対する治療を通して、患者の機能回復とQOLの向上を目指す専門外科です。他の診療科の治療域と共通する領域も多く、各診療科との連携を大切にしながら治療を行います。

皮膚科

一般皮膚科診療のほか、皮膚生検、小皮膚腫瘍の手術、皮膚・皮下組織の外傷の処置、アレルギー疾患の診断と治療を行います。また、入院患者の褥創対策における主導的役割を担い、全ての患者の入院治療をサポートします。



チームワークがスタッフの力を最大限に引き出します



確かな技術と誇りを持って医療現場を支えるメディカルスタッフ

看護師、薬剤師、臨床工学技士、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、管理栄養士、視能訓練士などのメディカルスタッフが、救急医療、高度先進医療、回復期リハビリテーション、そして予防医

療まで、幅広い医療の現場を支えます。CCMCの安全で確かな医療の実践のために、スタッフ一人一人が誇りを持って、知識と技術の向上に努めるとともに、信頼のチームワークがスタッフ一人一人の能力を最大限に引き出します。



薬剤師
佐藤 友光子

薬剤部にはチームワークを大切にする姿勢があり、そのことが薬剤部全体のレベルを上げ続けていると感じています。薬剤師として、知識や技術の習得はもちろんのこと、患者さんとのコミュニケーションとQOLの向上を念頭に、一人一人が納得し安心してできる指導を心掛け、服薬の大切さをお伝えしたいと思っています。



看護師
渡部 あきな

脳卒中ケアユニットでは、専門医療スタッフが脳卒中の急性期治療を組織的、計画的に行います。看護師は、他の医療スタッフとともに、病状や今後の治療方針、リハビリテーションの進め方などを確認し、患者さんの機能回復のための治療に積極的に参加しながら、自分の家族に接するような温かく熱い看護を心掛けています。

薬剤部



15名の常勤薬剤師が、院内で取り扱う全ての医薬品の調剤、品質管理、安全情報の収集・発信を24時間体制で行います。各病棟の担当薬剤師は、安全な内服治療が行えるように、患者の皆さまの不安を取り除き、丁寧で分かりやすい服薬指導を心掛けています。救急外来、手術室、化学療法室などのハイリスクな診療の現場では、機能的で安全な薬剤の配置と確実な補充を行うことで、安全で確かな治療を支えます。薬剤部だからこそできる活動に積極的に取り組み、医療チームの機能強化に努めています。



看護部

私たち看護師の仕事は、人と人をつなぐ仕事であり、心と心をつなぐ仕事です。《笑顔と安心の看護》を理念に掲げ、患者の皆さまの立場に立った良質で安全な看護を提供できるように努めています。患者の皆さまの笑顔と健



康な生活への復帰のために、優しさと思いやりの感性を育み、様々な訴えに耳を傾けています。そして、疾病や治療に伴う不安や苦痛の軽減に積極的に関わりながら、患者の皆さまが安心して治療に専念できる環境づくりを心掛けています。



よりよい看護を実践するためには、看護師にとって働きやすくやりがいのある職場環境を作ることも大切です。勉強会やワーキンググループ活動、キャリア支援などを通じて、知識と技術の向上を図るとともに、スタッフ同士の信頼関係とコミュニケーションを深め、全ての看護師が成長しながら誇りを持って働ける職場作りにも積極的に取り組んでいます。

診療技術部



臨床工学技士、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、管理栄養士、視能訓練士を含む約120名の専門技術者たちが、「安全で質の高い医療技術の提供」を理念に掲げ、CCMCの医療を支えます。臨床工学技士による医療機器の安全管理と適正使用のための教育、人工透析や人工心肺などの体外循環治療、診療放射線技師が支える高度な画像診断とカテーテル治療、管理栄養士を中心とした栄養サポートチームなど、それぞれのスタッフが各専門領域で多彩な技能を発揮し、チーム医療の中心としての役割を担っています。全てのスタッフが、知識と技術の向上に努めながら、患者の皆さまの安全と回復を最優先し、信頼とコミュニケーションによるチームワークでより質の高い医療の実践に積極的に取り組んでいます。



Team Based Medicine

医療の現場から地域の皆さまの 生き生きとした生活を支えます



安心のための救急医療

突然やってくる心筋梗塞や脳卒中。不安のない毎を送るために救急医療は欠かせません。当院は、地域の皆さまが生き生きとした毎日を過ごせるように、24時間体制で救急診療に取り組みます。また、千葉医療圏の救急医療体制の整備にも積極的に協力していくことで、地域医療の基幹病院として役割を果たします。



副院長 心臓血管センター長
青木 直人

循環器内科外来を受診される方は年々増加していますが、それにも増して、循環器疾患で救急搬送される方が増加しています。当院では、24時間体制でこれらの救急患者に対応しています。当然、医師、看護師、医療スタッフたちの負担は大きくなりますが、皆が患者に良くなってもらう、病気を治そうとの高い意識をもって、日々努力を続けています。

治療内容については、マスコミで取り上げるような症例数などにはこだわらず、患者ひとりひとりにとって最善の治療、最も負担の少ない治療、更には希望する治療を提供することを基本方針としています。

救急科



院内外の発生を問わず、回復すべき患者が確実に回復するように、24時間体制で緊急性の高い疾患の治療をサポートすることを第一の使命と考えています。

救急隊からの救急患者受け入れ要請に対しては、“救急ホットライン”による受け入れ体制を整えたことにより、応需から治療開始までの時間が短縮

され、また、事前に詳細な患者情報を得ることで、的確な初期治療がより速やかに行えるようになりました。心臓血管センターや脳卒中センターの専門医師による24時間体制のサポートを受けて、一次、二次救急医療のみならず、高度な専門医療の提供も可能となっています。

有効な救急医療を実践していく上で、病院前救護体制の整備は不可欠です。当院では、救急救命士を含む救急隊員の教育や千葉医療圏の救急診療体制の構築にも積極的に取り組み、今後も、地域医療の中核病院としての責務を果たしていきます。

リハビリテーション



障害からの機能回復とQOLの向上を目指し、患者の皆さまが有意義な日常生活に一日でも早く復帰できるように、最善の治療を提供いたします。疾患別リハビリ4区分において最高の施設基準を修得するとともに、脳卒中ケアユニットにおいて脳卒中発症日より行われる超急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション病棟で行われる脳卒中や重症外傷からの回復期のリハビリテーション、さらに、心臓リハビリテーション室で行われる心臓大血管手術後のリハビリテーションなど、病状や病態に応じた最良の治療が行える体制を整えています。

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士な

どの医療チームが、機能の回復のみならず、心理的および社会的問題の解決にも積極的に関わりながら、患者の皆さまのQOLの向上とご自宅への復帰を支援していきます。



ICU・CCU

ICU・CCUは、急性心筋梗塞、大動脈解離、心臓大血管術後などに対する急性期治療や術後管理をはじめとした様々な重症患者の全身管理を行います。優れた技術と知識を備えたスタッフによる医療チームが、診療科や職種を超えた集学的な集中治療を24時間体制で提供し、CCMCの高度先進医療および救急医療を支えます。



人間ドック科

働き盛りの世代だからこそ、自分自身の健康チェックが大切です。「日帰り人間ドック」「脳ドック」「骨密度」「乳癌」など皆さまのご要望に応じた各種オプションを取り揃えております。健診後のフォローアップ体制も充実しており、安心してご利用いただけます。

健康スポーツセンター

CCMCに併設されている医学的管理のもとで、安全かつ有効な運動療法が行える疾病予防運動施設です。生活習慣病でお悩みの方や高齢の方などに対して、医師と健康運動指導士が連携した運動療法を提供することで、健康な生活を支援します。

〈患者さまの権利と責務〉

患者さまの権利と責務

人は病気になっても、人間としての尊厳が守られなければなりません。従って、医療を受けるにあたり、患者さまは以下の権利と責務があります。

1. 自分の病気のことを知る権利
2. 医療を受けることを決める権利
3. 現時点での最良の医療を受ける権利
4. プライバシーが守られる権利
5. 医療従事者と共に医療に参加し協力する責務

私たちは、以上の事を尊重し医療を行います。

〈施設認定〉

- 日本内科学会認定教育関連病院
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- 日本東洋医学会研修施設
- 日本外科学会専門医制度修練施設
- 日本脳神経外科学会認定指定訓練場所
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本整形外科学会認定研修施設
- 3学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医教育施設
- 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働認定施設



〈診療科一覧〉

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| ■内科 | ■外科 | ■麻酔科 |
| ■消化器内科 | ■整形外科 | ■救急科 |
| ■循環器内科 | ■脳神経外科 | ■放射線科 |
| ■糖尿病内科 | ■心臓血管外科 | ■リハビリテーション科 |
| ■リウマチ科 | ■泌尿器科 | ■病理診断科 |
| ■呼吸器内科 | ■眼科 | |
| ■腎臓内科 | ■形成外科 | |
| ■神経内科 | ■皮膚科 | |
| ■人工透析内科 | | |

- 〈院内センター〉
 糖尿病センター
 心臓血管センター
 脊椎脊髄センター
 脳卒中センター

- 〈専門外来〉
 和漢診療科

人間ドック科

お車の場合

- 東京方面～ 京葉道路「貝塚IC」料金所を出てすぐの岐路を左[千葉市街・16号線・126号線方面]へ進みトンネルをくぐり最初の信号を左折 [51号線・成田方面]次の桜木町交差点を直進[千城台方面]
- 成田方面～ 「佐倉IC」料金所を出て51号線を千葉市方面へ直進 小倉台駅方面へ左折
- 東金方面～ 千葉東金道路「大宮IC」料金所を出てすぐ大宮団地方面へ左折
- 横浜・木更津方面～ 京葉道路「松ヶ丘IC」料金所を出て16号線(京葉道路側道)を直進 5つ目の信号を右折 [51号線・成田方面]

公共機関の場合

- JR総武線「千葉駅」下車(東京駅より快速で約45分)
- 千葉駅前ロータリー「京成バス」9番(約20分)
 千城台車庫(ほおじる台経由)行き または 御成台車庫(ほおじる台経由)行き 「ほおじる台」下車
 (千葉駅からタクシーご利用の場合は15分程度です)

セカンドオピニオンへの対応

当院での診断・治療方針等についてセカンドオピニオンをご希望される方は、主治医または担当医にご遠慮なくお申し出ください。紹介状(診療情報提供書)や検査データなどをご用意いたします。ただし、病状によっては時間的猶予がなく、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

他の医療機関での診断・検査・治療方針について当院の医師によるセカンドオピニオンをご希望される方は、紹介状をお持ちの方の受診と同様の手順で当該診療科をご案内いたします。通常の外来診療時間内での対応となります。疾患や相談内容によっては、対応できない場合や日時を改めてご予約いただく場合がございますのでご了承ください。

当院は個人情報保護方針が確立されております

当院は診療録開示を実践しております

Information

管理者: 中村 孝雄
 開設日: 昭和57年4月
 病床数: 272床(一般病床)
 敷地面積: 17,120㎡
 建築面積: 5,851㎡
 延べ床面積: 17,204㎡
 駐車場: 200台

医療法人社団 誠馨会
千葉中央メディカルセンター
 Chiba Central Medical Center

〒264-0017 千葉市若葉区加曾利町1835-1 Tel.043-232-3691
<http://www.ccmc.seikei-kai.or.jp>